

かさかけ 公民館だより

編集
笠懸公民館報編集協力員会
みどり市笠懸公民館
発行
みどり市笠懸公民館
〒379-2311
みどり市笠懸町阿左美1581-1
電話：0277-76-2211
FAX：0277-76-2836
Eメール：kouminkan
@city.midori.gunma.jp



▲ 綱引き どっちのチームが勝つかなあ

笠懸公民館主催「お母さんと一緒教室」では、10月23日(水)に親子運動会を開催しました。

当日は、7組の親子が参加し、楽しい運動会になりました。

7月に開講し、今回8回目を数えるこの教室は、子育てに励むパパママを応援するため、2〜3歳児を対象に開催。今年度は、18回を予定しています。

運動会



響きわたる元気な声!!

お母さんと一緒教室

社会環境の変化もあり『核家族化の進む中、同年代の子どもを持つ親同士のネットワークづくり』『低年齢児童の集団遊びを通しての社会体験』『親子の楽しい思い出づくり』と、この教室の開催は、公民館事業の中でも重要な位置を占めています。

講師の根岸先生とのアンパンマン体操が始まった運動会は、かけっこや、お母さんと一緒に大きなパンツをはいてゴールを目指すデカパン競走。玉入れや、お母さんと一緒に2チームに分かれての綱引きなど、盛りだくさんのプログラムを楽しみました。

「今日は、皆さん本当によく頑張りました。おうちに帰ったら・・・」という根岸先生のあいさつの中、突然『みどモス』が出現。ビックリしてお母さんに抱きついた子どもたちも、

『みどモス』に慣れるにつれ、触ったり、引っ張ったり興味深そうに観察していました。

公民館では、「これから

どんぐり拾い

10月4日(金)、お母さんと一緒教室「どんぐり拾い」が笠懸公民館で行われました。

どんぐり拾いの他に牛乳パックと輪ゴムで、ピヨピヨうさぎとかえるを作りました。

牛乳パックを切り、それぞれにうさぎとかえるの顔を貼り付け、輪ゴムをかけます。

指ではじいて高く飛び上がる、子どもたちは大喜びしていました。

どんぐり拾いは、小雨が降っていたので公民館の廊下にブルーシートを敷き、そこにどんぐりをまいて行



▲ どんぐりを拾って何作ろう?

も、『みどモス』の出現を囃り、みどり市の『ゆるキヤラ』を周知していきたい』と話しています。

運動会が終わわり、館内に移動して親子で会話を楽しんでみると、どこからともなくハロウィンの魔女が出現。子どもたちにお菓子のプレゼントをしました。

.....

ペットボトルに拾ったどんぐりを入れて振ると『カシャカシャ』と音が出るので、何度も振って楽しんでいました。

終わるころには、雨が上がり公民館のまわりをお母さんと一緒に散歩して楽しそうでした。

希望あふれる文化祭

令和

令和元年度笠懸地域文化祭が10月19日(土)・20日(日)の2日間、笠懸公民館と笠懸野文化ホールで開催されました。

来場者は、2日間で延べ約2500人でした。

心配された雨も見事に上がり、太陽の光がまぶしいほどの天気でした。

公民館へ入ると、『令和がこんな時代になったらいいなあ』というテーマで、来場者に書いてもらった、いくつもの思いやメッセージ、寄せ書きが階段の壁一面に貼ってありました。

平成から令和に代わっても災害が多く、皆さんの願いは、「災害がなく安全に幸せに暮らしたい」という思いがほとんどでした。

文化祭では様々な企画が用意され、来場者を楽しませていました。特別企画の「MAY'Sコンサート」は大いに盛り上がっています。

した。ボーカルは桐生市出身の片桐舞子さん。コンサートの最後には、ダンスサークルの子どもたちとのコラボもあり、バックダンサーとして出演し、貴重な経験ができました。

各団体の活動として、展示部門では、絵画、写真、編み物、幼稚園・小中学校の生徒等の作品が展示され来場者の目を楽しませていました。

ステージ部門は、パルを会場に日本舞踊、フラダンス、楽器演奏などが披露された大きな拍手が送られていました。

イベント部門では、模擬店や即売が行われ長い列ができていくところもありました。

それぞれの部門で市民の皆さんの活動がみられ、みどり市の活性化に寄与し、人生100年時代を象徴するものでした。



▲ポスターコンクール入賞者

左から赤石結夢さん 渡辺美優さん 高木茜さん



▲みんなのアイドル みどモスとぐんまちゃん



▲令和へのみんなの願いが壁一面に



▲素敵な絵手紙を鑑賞



▲フラワーアレンジメントを体験



▲美味しそうな匂いにつられて



▲ ダンスチームとコラボ



▲ MAYSの歌声がホールに響く



▲ ストライク! 未来のエース



▲ ボルダリングに挑戦



▲ すご〜い
大道芸の技に見入る



▲ 優雅なフラダンス



▲ ダンスライブ



▲ 多肉植物の寄せ植えを体験



▲ ねこハウス



▲ 迫力ある「幻領」の和太鼓

公民館の仕事って？

笠中キャリアアドリーム事業

10月9日(水)、笠懸中学校キャリアアドリーム事業(職場体験)として2年生の和田敦くん、小林莉久くんの2人が笠懸公民館の仕事を体験しました。

この事業は、生徒が適切な職業観、勤労観を身に付けることを目的に毎年実施されているものです。

初めに館内を館長が案内し、交流ホールをはじめ各部屋や設備などを見学。その後、実際に仕事を体験しました。

まずは、文化祭が近いこともあり、使用する看板の



▲ 公民館の仕事を体験

製作をしました。また、当日は笠懸公民館主催高齢者

大学第4講「高齢者の健康管理」が開催されており、そのお手伝いとして、休憩時間に受講者に提供する約140人分の麦茶の用意や後片付けを行いました。

簡単な仕事のように見えますが、どれも公民館事業を実施するうえで大切なものばかりでした。

最後に感想を聞いてみました。「いろいろな仕事があつて大変だった」「どんな仕事があるか分からなかったけど、やってみて楽しかった」と話してくれました。

また、公民館とはどんなところか聞いてみると「笑顔になれるところ」「楽しいところ」という答えが返ってきました。

将来、どんな仕事についても「笑顔」「楽しい」を忘れないでほしいですね。

避難所としての公民館

台風19号の接近に伴い、

10月12日(土)午前9時笠懸公民館が自主避難所となり避難者の受け入れをしました。

台風19号は、先に関東に上陸し千葉県に大きな被害をもたらしした台風15号を上回る規模の台風で、関東・東海・東北など広範囲に大きな被害をもたらししました。

午前中から避難者が公民館に集まり、用意された避難場所(和室)で過ごしました。時間を追うごとに、

雨風が強くなり、避難者も増え、最終的には16世帯28人が公民館に避難しました。ロビーでテレビを見ながら情報収集する人、避難者同士で楽しく会話する人、

読書をする人、横になって体を休めている人など、避難者は思い思いに過ごし、一夜を明かしました。

避難してきた人に話を聞いてみると

・まだ、大丈夫だが、何か

あつてからでは遅いから避難してきた。

・暗くなつてからでは危険なので、まだ明るいうちに早めに行動した。

・家にいたら雨風で不安だが、ここに来れば安心して過ごせる。

・何かあつても何もできないので、まずは安全なところでいて、家に帰ったら対応すればいい。

など胸の内を話してくれました。

今回の自主避難では、市ホームページに必要なものは持参するよう掲示されたため、避難者は食糧や衣服、布団など必要なものを持って公民館にきました。

避難所の運営には、公民館職員2人が夜を徹して対応し、避難者の受け入れ、情報収集、対策本部との連絡調整などにあたりました。

公民館には水や食料などの備蓄品、発電機、投光器

などは常備していません。地震など災害が発生した場合、長期の避難所としては機能や設備に課題があります。

「もしも」ではなく「つねに」不測の事態を想定し避難所としての公民館の機能や設備の充実を図ることが必要と思われれます。



自主避難所とは

災害が発生するおそれがあるとき、地方自治体が事前に避難を希望する人を対象に、一時的に開設する避難所のこと。

指定避難所とは異なり、自主避難所では原則食料、飲料水、寝具などの提供は行わないので、各自の判断で最低限の必需品(食料、飲料水、薬、衣服など)を用意して避難します。

初心者教室を開催

笠懸地域文化協会

笠懸地域文化協会が地域文化振興の一環として「初心者教室」を開催しましたので、その様子を紹介します。

日本のこころを体感



「着物着付教室」が、9月5日(木)から10月31日(木)まで(全7回)笠懸公民館で行われました。



▲ 着付け教室も無事終了し、全員で記念撮影

参加者は、初めての人や経験のある人など12人で

講師は武井幸恵さんです。初日の挨拶で講師は「最終日には、名古屋帯が一人で締められるようになり、その着付けのままで、コーヒードも飲んで帰れるようにしたいですね」と話していました。着物をきれいに着るのは、体形の補正が大切だそうです。また、着物は洋服に比べて手間がかかるうえに、色々と小物も必要になり敬遠されがちです。帯をキュッと締めると、身も心も引き締まるような気がします。教室の最終日には、「このまま帰りにコーヒードも飲んで行きますか?」という講師の問いかけに「そうですね。行ってみようかな」と参加者は答えてくれました。また、「これを機に機会があれば着てみたいですね」とも話していました。日本文化の着物を着ていただきたいと思いますね。

詩吟の世界を堪能



「詩吟教室」が、9月5日(木)から10月24日(木)まで(全6回)笠懸公民館で行われました。

講師は、高野君枝さん、坂寄初美さんの2人です。参加者は5人で、身内がやっていることを聞いて始めた人、昔やっていた今回を機に再び始めた人などいました。

最初は、歌詞、符号を覚えたり、詩吟独特の節回し

写真を学ぶ



「初心者写真教室」一眼レフを使いこなして楽しむ」は定員不足で開催されませんでした。

講師の予定だった「フォト銀河」代表の山荷茂さんが、応募した2人のために公民館のロビーで「特別写真教室」を行いました。受講者の2人はカメラを



▲ 特別授業で写真のいろはを学ぶ

脇に置き真剣に学んでいました。

でなかなか大変そうでした。教室の終わりのころには「声も出るようになり、符号も理解できるようになって友達もでき、とても楽しかった。機会があればまたやってみたい」と参加者は話していました。

講師は「詩吟は若い人にはなかなか馴染んでもらえず、やる人が減っているのが寂しい」と言っていました。歌詞、符号を覚えたり、腹の底から声を出すので、健康にもとても良いそうです。



▲ 詩吟のおもしろさを感じながら

—お知らせ—

《年末年始の休館のお知らせ》

12月28日(土)から1月4日(土)まで笠懸公民館は休館となります。

ご理解とご協力をお願いします。

スポーツの秋を 満喫

二区

笠懸町第二区では、抜けるような青空となった10月27日(日)、区民広場で運動会を開催しました。

会場には多くの区民が集まり、二人三脚や玉入れといった定番から、くつとばしやケツ圧測定などユニークな種目に汗を流し、子どもから大人までがグラウンドを駆け抜けていました。昼食には、婦人会などが調理したカレーが用意され、



▲ 二人三脚で「1、2 1、2」

全員のお腹を満たしました。競技参加者には参加賞、運動会の最後には抽選会があり、参加者は多くの賞品をもって会場を後にしました。

こえの ひろば

お邪魔しま〜す♪
サークル
紹介②⑥



今回お邪魔したのは、笠懸公民館を飛び出して十区公民館で活動している「赤城小品盆栽サークル」です。笠懸地域文化協会の体験が始まりで発足して10年以上続いているとのこと。家にある物を持ち寄って“お金をかけずに楽しく”をモットーに、活動しているそうです。12月にはお正月用の寄せ植えをするので、ぜひみなさんご参加〜♡

た。

今年で41回目の運動会。これからも地域の交流や親睦を目的に続け、地域を盛り上げてほしいですね。

このコーナーは、市民のみなさんの交流の場です。サークルの会員募集やイベントのお知らせ、投稿など、何でも原稿をお寄せください。(しめきり毎月10日)

代表：栗原ムツエさん
TEL：090-5446-8640

活動場所：十区公民館
活動日：第1・3金曜日
午前10時から
会員数：5人(男性1人 女性4人)
会費：材料費のみ
会員募集中!!
区外でもOK!!



▲ 文化祭での一枚

投稿

第13回みどり市民卓球大会

F・T

10月14日(月)体育の日に、みどり市市民体育館で、第13回みどり市民卓球大会が開催されました。参加者は245名。この大会は小学生から大人までが同じリーグで戦いました。結果は次のとおりです。

- ◆ 一般男子シングルスA
 - 優勝 高柳陽斗 (大間々東中)
 - 準優勝 神山翔飛
 - 第3位 黒澤侑右
 - 第3位 深澤志翔 (Jutokジュニア)
- ◆ 一般男子シングルスB
 - 優勝 金子恭志郎 (大間々東中)
 - 準優勝 唐沢快斗 (笠懸南中)
 - 第3位 赤石玲人 (大間々東中)
 - 第3位 小島悠禅 (Jutokジュニア)

- ◆ 一般女子シングルスA
 - 優勝 米澤桜 (大間々中)
 - 準優勝 高草木葉清 (大間々中)
 - 第3位 御園珠美怜 (大間々中)
 - 第3位 高川菜帆 (大間々高校)

- ◆ 一般女子シングルスB
 - 優勝 鈴木理沙 (大間々中)
 - 準優勝 福田樹里 (大間々中)
 - 第3位 矢島愛里 (大間々中)
 - 第3位 平塚玲奈 (笠懸南中)



かさかけ公民館だより(149号・6ページ)に掲載しました「投稿」の記事で、文末部分「ざいまだ」が表示されていませんでした。関係者の皆様には心よりお詫び申し上げます。今後、編集には細心の注意を払ってまいります。

次のようなハガキが届きましたので紹介します。

「かさかけ公民館だより」いつも楽しく拝見しています。

未就学児と母親の「お母さんと一緒教室」の記事の写真ですが、親の顔があまり写らないようにしていただければ、入学したいと思っております。(親の顔が毎回はつきりと載ると、色々ありますので・・・恥ずかしく申し込みを断念しました。)

子どもだけの写真は大丈夫だと思えます。親はうれすがたのみなど・・・可能でしたらご配慮いた

今月の一首(6)

風鈴

験なき ものを思はずは
一杯の濁れる酒を 飲む
べくあふひし

(3・三三八 大伴旅人)

《訳》甲斐のないもの思いをするよりは、一杯の濁った酒をのむべきであろう。

だけるとありがたいと思えます。勝手を言って申し訳ありません。他にもそんな声を耳にしました。よろしくお願いします。ハガキにて失礼します。

匿名

《館報編集協力員会より》

かさかけ公民館だよりでは、笠懸公民館事業をはじめ地域のイベントなど身近な話題にスポットをあて、掲載しています。どの記事も写真やイラストなどを掲載し、活字だけにならないよう編集しています。

お母さんと一緒教室は、9か月間に18回の教室が開催され、公民館事業として

《解説》十一月は、忘年会などでお酒を飲む機会の多い月です。そこで、十三日にあげる歌まで、大伴旅人の「酒を讀むる歌」と題された十三首の歌をお届けいたします。

十三首の歌は、中国文学の教養に根ざした知的なユーモアが光ります。

できるだけ掲載していく予定です。

写真については、教室の初回に参加しているみなさんから了解を得て掲載しています。記録写真として撮った中から、編集の際に一番いい写真を選び掲載しています。親子で参加しているため母親が写真に写ることとはありますが、掲載NGの人は載せないようにしています。

このたびは、貴重なご意見をありがとうございました。今後も編集には配慮してまいります。

これからもかさかけ公民館だよりをご愛読のほどよろしく願います。

『万葉集一日一首』

花井しおり編

(致知出版社刊)より

《感想》昔も今も辛い時や自分を慰めるときに酒の力を借りるのは、変わらないですね。12月は忘年会が多いので、お酒の飲み過ぎに注意してください。



四季の会 十月句会



秋茄子をたつぷり入れるインドカレー
今日の新聞で包む大根もらひをり
妻のぐち聞き流せしや秋の空
菊人形スポットライトに踊る人
きぬかつぎ岩塩を付け喰ふ三時
秋のバラ妻の愛した庭に咲く
秋風になぞられ座すや磨崖仏
晩秋や関西なまりの男くる
新米の刈取り忙し老夫婦
菊人形きせかへられて勢揃ひ
この次はきつと話そふ芒原
裂織りの稽古に励む秋の暮
猫と住む模様替へせし秋の部屋
石路のかほりの庭にしみじみと
朝霧につつまれ行くや湖の宿
夕もみじ鉄橋赤き芝居小屋
尋ぬれば「どちら様ですか」と秋の暮
いにしへの恋の思ひ出秋の旅
音もなく山茶花大樹寺に散る
縁側に猫と見とれる十三夜
けんちん汁多目に入れた秋野菜
百円の傘でしのぐや秋時雨
温泉の日帰りツアー秋の宿
さざ波や錦をりなす紅葉狩
見上ぐれば小菊の里に来て居りぬ
熟柿スプーンで食ふてああ旨ひ
晩学の無口になりて栗を剥く
あさがほの名残の一輪色は藍
新蕎麦を葱一本で食ぶ妻夫
獣らの居そふな気配栗拾ふ
秋深し影も短くなりけり
人住まぬ家に一灯十三夜
ひとり聴く「悲しい酒」や秋深し

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----|----|---|---|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|----|----|----|-----|----|----|----|
| 金 | 宇野 | 村田 | 童 | 冠 | 横倉 | 小此木 | 須田 | 徳田 | 糸井 | 今井 | 山下 | 久保 | 糸井 | 富士山 | 金井 | 真下 | 石原 | 金井 | 新羅 | 遠藤 | 村田 | 富田 | 楮沢 | 吉田 | 韓 | 小林 | 多田 | 越塚 | 津久井 | 川岸 | 東宮 | 佐藤 |
| 光 | 勘 | 小 | 鳥 | 二 | 和 | 仙 | 夕 | 初 | 初 | 草 | 梅 | 青 | 漢 | 光 | 勝 | 紅 | 春 | 和 | 百 | 華 | 冬 | 勝 | 友 | 星 | 春 | 小 | | | | | | |
| 月 | 大 | 町 | 海 | 郎 | 雅 | 音 | 子 | 音 | 音 | 秋 | 光 | 蓮 | 江 | 海 | 龍 | 蘭 | 蘭 | 義 | 日 | 笑 | 蓄 | 鬼 | 禅 | 漢 | 水 | 春 | | | | | | |

テクテクお城歩き(8)

「苗木城」 歩遊人

岩村城からそう遠くない中津川市に続日本100名城のひとつ苗木城があります。中津川市内を流れる木曾川の右岸にあり急峻な地形を利用した山城です。

資料によれば、苗木・遠山氏が戦国時代(1530年代)にこの地に城を築いたようです。

苗木城は天然の巨石を利用して石垣や城郭が築かれています。苗木・遠山資料館から歩いて大矢倉、具足蔵、武器蔵を経て天守に立



▲ 眼下に木曾川を臨む苗木城

と流れる木曾川は絶景です。また、この地に北恵那電鉄が中津川から付知町まで走っていました(昭和53年9月廃止)。その遺構を今でも見ることが出来ます。そして、城郭ファンから山城No.1という評価を得ているようで、この光景を見ればうなずけます。

笠懸短歌サークル 十月例会より



久に逢ふ縁者はなべて年重ね背丸く見ゆ歩幅小さく
キャッシュレスで国がポイントくれるとぞ不思議な国の消費増税
秋晴れのすがしき日なり曼珠沙華野道に咲きて日暮れの早し
ほとぼしる汗と涙の和太鼓に幼の声も交じる合の手
川べりを深紅に染める彼岸花草刈りの手をやすめて眺む
知床を見よこれでもかとして観光船入江の奥をまた深くゆく
啄木歌集の丸のつきぬる歌たちにわが若き日の心を偲ぶ

上村 征子
上山 利夫
橋内 文夫
久保田茂子
近藤ふさ子
関口 定夫
平山 勇

コラム 豆電球



「味覚は、料理を楽しむだけではない?」

味覚とは、四大基本味といわれる、甘味、塩味、苦味、酸味を感じとる感覚のことだが、味覚は料理を楽しむためだけにあ

るのではない。生命を維持し、なおかつ危険を避けるという大切な役目もある。

最後に身につくのが酸味と苦味だが、これを感じる必要があるのは、この二つの味は有毒物質に含まれていることが多いから。食べたものを苦いと感じ、反射的に吐き出すというのは、人間が生きていくうえで、極めて重要なことなのである。

このように、四つの味を認識できて初めて人間は一人前になる。もともと、年を取って食通といわれるようになると、魚のはらわたなど苦い物がうまいと言いだすのだから、人間とは思議な生き物である。

ちよつと一息



消費税が10%になった。「キャッシュレス・消費者還元事業」の消費者に向けてのCMも多く、実際にいり我が店も手を打たなければと思ひ調べたが、還元事業の複雑さに戸惑うばかり。クレジットカード、QRコード、電子マネーの種類の整理から始めた。元々クレジットカードの取り扱いはあったが、必要書類提出等に手間取ったりで、申込みも遅れた。

Pay Payは申請落ち!なんてこつた!結局大手企業のポイント還元や安売りに負けてしまふのでは...。この事業が始まって約2か月、利用者はわずか5人。知らず知らずのうちに世の中はATMやクレジットカード、Suicaなど少しづつキャッシュレスになつてのね!そのうちマイクロチップ埋め込みに!「キャッシュレス怖くて」と言う友だちも格差を感じる今日この頃... (美)